

# ファッション検定 1級

## 文部科学大臣賞

# 決定!

2025年度  
ファッション教育



### 弊協会ロゴマークがリニューアルいたしました!

ロゴマークは、日本ファッション教育振興協会 Fashion Education Association Japanの理念を象徴しています。弊協会の核となる「Fashion」と「Education」の頭文字を架け橋のように組み合わせたモノグラムは、両者を結びつける存在であることを示しています。

奥行きを感じさせる造形は、学びの先に広がる未来を表現。学びはいつでも新たに始めることができ、時を経ても積み重なりながら未来へと広がっていくものという思いを込めています。



FASHION  
EDUCATION  
ASSOCIATION  
JAPAN

日本におけるファッション教育の知識・技術の向上を図るために創設された財団法人です。繊維ファッション・流通分野の人材育成のための「ファッションビジネス能力検定」、リテール・小売企業で販売を担当する人材を育成するための「ファッション販売能力検定」、ファッションビジネスの現場で必要とされる色彩スキルが身につく「ファッション色彩能力検定」、アパレル企業の生産部門における人材育成のための「パターンメイキング技術検定」などの検定試験と検定テキストの発行を行っています。また、全国の服飾系学校の学生を対象とする「ファッション画コンクール」、教育功労者の顕彰、産業界と協力して開催する講演会、研修会など、ファッション教育の確立と振興を目的に活動しています。

### ごあいさつ



理事長 遠藤 亜子  
町下 櫛

文部科学省、経済産業省をはじめ日本アパレル・ファッション産業協会、職業教育・キャリア教育財団、全国の服飾関係の各学校の皆様には日頃より弊協会の運営におきまして、多大なるご協力を賜りまして、誠に有難うございます。心より感謝申し上げます。

ファッション業界を支えていく人材の育成として、各学校におかれましては様々な取り組みに励んでいらっしゃるものと存じます。業界のデジタル技術の進化や多様性とインクルージョンの対応など変化の多い中で、常に情報をキャッチしグローバルな視点でも素早い対策をカリキュラム等に反映することにより即戦となる人材の輩出に繋がっていると思います。文部科学省より「学修者本位の教育実現」が掲げられ「出口における質保証」の充実・強化にも奮闘されていることでしょうか。

弊協会におきまして、今年度は検定受検者の皆様の能力がより一層積み重なり、その頂点として各検定の1級における最優秀者の方に、文部科学大臣賞を授与できることとなりました。今までもご自身の能力を客観的に裏付けてくれるエビデンスとなっていたことと思いますが、これを機会に学ぶ意欲がさらに点火され、今後業界に携わる方々のスキルが付加価値の源泉となり、様々な分野に流れ着き潤いのある業界となりますよう願っております。

2026年度より、パターンメイキング技術検定につきまして、厚生労働省からの後援も頂戴することが出来ました。これもひとえにファッション業界におきまして、検定取得者の方々の活躍により貢献されていることが評価されたことの現れだと確信しております。今後もファッション検定では、業界の変化に伴い内容の精査も行い基軸をしっかりとしたうえで時代性を取り入れて参ります。

また、この度協会のロゴにつきましてリニューアルすることとなりました。協会の使命でもありますが、ファッション教育の振興として産官学の架け橋となるよう、イメージを具現化しました。更なる目標に向かって明るい未来への活性化にこれからも微力ながら尽力していく所存です。どうぞ引き続きご理解ご協力の程お願い申し上げます。

# 2025年度 ファッション検定 成績優秀者 表彰式



## ファッション販売能力検定

1級

文部科学大臣賞

田中 奈津子

株式会社 三陽商会

この度はこのような名誉ある賞をいただき誠にありがとうございます。私はファッション販売の現場に20年以上携わっています。今回、店舗支援の一環として販売スタッフの人材育成に携わることで、学びを深めたいと思い、学習をはじめました。実務的な内容も多く、知っていたことでもありましたが、一方で今まで自分からは学んでいなかった分野を知ることができました。ファッション販売は、以前は対面販売が中心でしたが、今はお客様の買い物の手段が多様化し、ECとリアル店舗を使い分け、お買い物を

楽しむようになりました。この流れにのってお客様の体験価値向上をはかっていくには、感じの良い接客、商品知識に加えて、SNSやECとの連携など様々な分野の幅広く豊富な知識を身に付ける必要があります。また価格に見合う価値を感じていただくためには、洗練された技術も必要です。学習したことを実践して自分のものとし、実務に活かしていくと共に、これからも様々なことに興味を持ち、学びを深めていきたいと思っています。この賞を励みにより一層精進してまいります。



## ファッションビジネス能力検定

1級

文部科学大臣賞


西村 碧人

KJO-premium 合同会社

この度は文部科学大臣賞という大変光栄な賞を頂戴し、心より感謝申し上げます。FBI級の5科目には、様々な狙いがあるかと存じます。その中でも、常に各分野の知識を最新のものにアップデートする必要がある点が、最も印象的です。FBI級は年に一度の試験です。で、少なくとも昨年のアパレルに係る知識や数字はチェックする必要があります。それはつまり変化し続ける市場の動向を鑑みて実践する、アパレル業界特有のマーチャндаイジングの姿勢そのものだと思います。

また、日本のアパレル産業の課題として、輸入品の浸透率の高さを問う問題が例年強いメッセージ性を発しているかのように出題されています。私は社会人ですので、勉強だけでなく実務も行っておりますが、グローバルな視点で活躍できる人材は非常に希少ではないかと存じます。上記のアパレル産業における課題解決に貢献するため、より職人的な技術と外国語の習得に励んでいこうという所存です。今回の受賞を励みに、学びと実務を往復しながら、社会に価値を還元できる人材を目指してまいります。





パターンメイキング技術検定

1級

文部科学大臣賞

哈悦

文化ファッション大学院大学

文部科学大臣賞をいただき、大変光栄に思っております。本検定は、これまでの自分の学習を振り返る一つの節目となりました。

本検定に向けた学習を通して、私は解答を完成させること以上に、一つの制作としてパターンやトワルに向き合うことを大切にしてきました。作図を行い、トワルを組み立て、修正を繰り返す過程は、試験対策というよりも、ものづくりそのものに近いものでした。学習を進める中で、パターンには正誤だけでなく、美しさの判断があることを強く意識するようになりました。曲線のわずかな

違いや、1mmほどの差であっても、トワルにした際の印象や完成度は大きく変わります。経験を重ねるにつれ、自分の未熟な点や気になる部分に気づけるようになり、細部と向き合いながら改善を重ねる姿勢が身についていきました。

今後については、まだ模索の途中ではありますが、ものづくりに対して誠実に向き合い、考え続ける姿勢は変わらないと思っています。今回得た学びを今後の学習や実践につながら、自分自身の審美眼と技術をさらに深めていきたいと考えています。



ファッション色彩能力検定

1級

文部科学大臣賞

植西 玲太

京都橘大学

私は服飾系の大学ではなく、一般大学に在籍しています。

本検定は、専門的知識を学ぶ入口であると同時に、学びを実践へとつなぐ貴重な機会となりました。

専門教育の環境に身を置いていないからこそ、自ら学習の構造を設計し、日々の自己対話を通して理解を深めてきました。

今回の文部科学大臣賞の受賞は、結果以上に、これまで積み上げてきた学習の構造が間違っていなかったと確信できた経験です。

才能や環境に依存するのではなく、自分自身と向き合い続け、決めた構造を感情に左右されず守り抜く。その積み重ねが成果につながるのだと実感しました。

4月から始まる最終学年では、検定で得た知識や視点を日常の制作や実践の場で活かし、卒業論文を「学習と実践を統合する場」として位置づけます。

本検定で培った学びを制作・研究へと落とし込み、学びと行動を往復させながら、再現性のある成長を積み上げていきます。

今回の受賞は通過点です。

自己対話と実行を積み重ね、令和8年度にはファッションビジネス能力検定およびファッション販売能力検定において、ダブルで文部科学大臣賞を受賞し、再びこの場に立てるよう進化してまいります。

日本ファッション教育振興協会賞

2級

文化服装学院

馬場 涼花

ファッションビジネス能力検定

3級

遠藤 結太

ファッションビジネス能力検定

2級

株式会社タイド・フォワード

塩川 佳歩

ファッション販売能力検定

3級

山本学園情報文化専門学校

新垣 クミコ

ファッション販売能力検定

2級

文化服装学院

窪田 彩花

ファッション色彩能力検定

3級

香蘭ファッションデザイン専門学校

神川 祐夢

ファッション色彩能力検定

2級

中部ファッション専門学校

吉村 類世


パターンメイキング技術検定

3級

学校法人 岡学園  
トータルデザインアカデミー

伊藤 柚来

パターンメイキング技術検定



今年度より、検定試験1級において、最優秀成績者に「文部科学大臣賞」が授与されることになりました。

ファッション検定は、文部科学省・経済産業省の後援のもと、全国の学生や業界人が専門性を証明するために取り組んでいます。最も優れた成績を収めた方を称える賞を授与し、努力と成果を高く評価いたします。

「文部科学大臣賞」は、日々の学習の成果を称えるだけでなく、将来のキャリア形成における自信となる、大変名誉あるものです。全国の学生や業界のプロフェッショナルの中で、自身の専門性を証明する絶好の機会となるでしょう。

今後、受検者の皆様にとってより高い目標に挑戦するモチベーションとなることを期待しております。

# 第41回 全国服飾学校 ファッション画コンクール 大臣賞決定!

## 文部科学大臣賞



専門課程

萩原 奈音

上田女子服飾専門学校  
ファッションクリエイター学科  
ファッションクリエイターマスタートーズコース

このたびは文部科学大臣賞という大きな賞をいただき、大変光栄に思っております。専門学校在学中の三年間、同コンクールに作品を出品し続け、毎年選出していただけなのに、心から感謝しています。これまでの制作では、テーマや対象を明確に定め、構成を固めてから描くことが多かったのですが、今回の作品では、手の動きや感覚に身を委ね、偶発的に生まれる形や表現を大切にしながら制作しました。そのような感覚的な表

現こそが、私にとってのファッションであり、自由な表現の在り方であると改めて感じました。今年で卒業を迎え、ファッションを直接学べる環境は残りわずかとなりますが、社会に出た後も、ファッションは日常と切り離せない存在であり続けると思っています。今後は既存の枠にとらわれず、自分自身の視点で学びを深めながら、ファッションとの関わり方を主体的に見つけていきたいです。



## 経済産業大臣賞



専門課程

水野 綾香

上田女子服飾専門学校  
ファッションクリエイター学科  
ファッションクリエイターコース  
パターン専攻

この度は経済産業大臣賞を受賞することができ、とても嬉しい気持ちでいっぱいです。デザイン画には私の好きな昆虫たちと日々の生活の中で思うことをデザインの中に詰め込んだので、正直に私が作りたいと思う服を描きました。デザイン画の着色にかなり時間をかけて、よりリアルに見えるように細部までこだわって色を重ねていったので、賞を受賞したと伺った時は私のこだわりを人に伝えることができたのかなと思いました。

これからの私の目標は、もっといろいろなデザイン画を描くことです。私にとって絵を描くことと、服を作ることは自分を最大限に表現できる事なので、もっとスキルをあげていきたいです。今の私は保守的なデザイン画ばかり描いているので、自分の殻を破ってもっと独創的な、目を見張るような作品を描けるように日々、己の感性を磨くことを怠らず、より良い作品を作ること尽力したいと思います。





経済産業省  
商務・サービス審議官賞



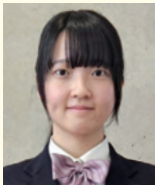
専門課程

大阪文化服装学院  
スーパードesigner学科  
湯浅 雅史

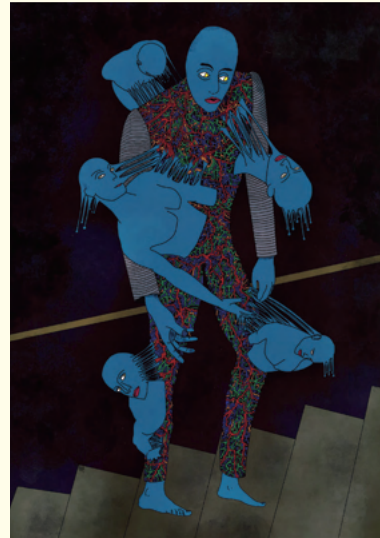


高等課程

アンファッションコレクション  
ファッション総合科  
服部 彩世

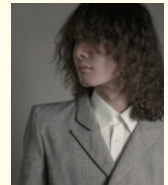


文部科学省  
総合教育政策局長賞



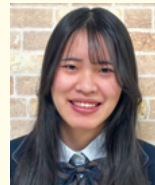
専門課程

ファッション文化専門学校DOREME  
クリエイター学科  
吉田 璃玖



高等課程

東洋学園高等専修学校  
総合ビジネス科  
中野 友月香



全国服飾学校ファッション画コンクールについて

次の時代を担う、感性豊かな  
ファッションクリエイター  
育成のために

日本のファッション産業を魅力と活力ある産業にするためには、なによりも産業を支える有為な人材、これからの産業を担っていく様々な人材の育成が必要ですが、とりわけ国際的な競争力を持つ、魅力的なファッション商品の発想・開発ができるデザイナーやクリエイターなど、高い専門能力を持ったスペシャリストが待望されています。

全国の服飾系学校の学生を対象とするこのコンクールは、こうした状況を勘案し、学生に目標を与え、ファッションにおける創造やデザイン能力向上を図るために、文部科学省、経済産業省、一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会、一般財団法人職業教育・キャリア教育財団の後援を得て行っており、令和7年度で41回になります。

このコンクールへの応募基準は、専修学校の専門課程（高卒以上が入学）と高等課程（中卒以上が入学）の学生・生徒が、自ら発想・デザインしたもので、学内選考を経た未発表のオリジナル作品に限られます。応募点数は、都道府県官公庁に届出のファッション関連教育課程（各課程）の定員数を基準にし、100名未満を5点、100名以上250名未満を10点、250名以上500名未満を15点、500名以上1000名未満を20点、1000名以上を30点とし、今年度も多くの学校より優秀な作品が寄せられました。第一審査を経てテーマは「唯一無二の服」で、57校より471点の応募がありました。

文部科学大臣賞／  
経済産業大臣賞ほか授与

「最も優れた作品で、感性性の高いもの」に対し文部科学大臣賞、「最も優れた作品で、市場性の高いもの」に対して経済産業大臣賞が授与されます。これらに次ぐ優秀な作品には、文部科学省総合教育政策局長賞および経済産業省大臣官房商務・サービス審議官賞が授与されます。そのほか、一般財団法人職業教育・キャリア教育財団理事長賞、一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会理事長賞、一般財団法人日本ファッション教育振興協会理事長賞、全国服飾学校協会会長賞などが授与されます。

第41回  
全国服飾学校  
ファッション画コンクール 入選者発表

一般社団法人 日本アパレル・ファッション産業協会  
理事長賞



専門課程

岡学園トータルデザインアカデミー  
ファッション科  
ファッションクリエーターコース  
和田 穂乃花



高等課程

アンファッションカレッジ  
ファッション総合科  
大石 結名

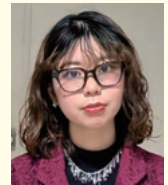


一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団  
理事長賞



専門課程

ドレスメーカー学院  
アパレルデザイン科  
塚本 琴美



高等課程

山本学園情報文化専門学校  
ファッションライフ科  
近藤 あおい



高等課程

井上 陽菜  
デザインテクノロジー専門学校  
日置 梨々愛  
アンファッションカレッジ  
オカジョインイチロメロ  
山本学園情報文化専門学校  
水野 愛梨  
東洋学園高等専修学校  
齊藤 音花  
小井手ファッションビューティー専門学校

専門課程

木村 すもも  
東京モード学園  
BARRON SENA  
東京モード学園  
HONG PeiPei  
文化服装学院  
KIM Sion  
文化服装学院  
野口 惺渚  
織田ファッション専門学校  
今田 ゆず  
ヴィジニクスト情報デザイン専門学校

優秀賞

11名



第41回

全国服飾学校

ファッション画コンクール

入選者発表

全国服飾学校協会  
会長賞



専門課程

和田 愛梨  
香蘭ファッションデザイン専門学校  
ファッションデザイン科



高等課程

鈴木 そら  
中央学園高等専修学校  
ファッションクリエイター科



一般財団法人 日本ファッション教育振興協会  
理事長賞



専門課程

林 凧彩  
ドレスメーカー学院  
アパレルデザイン科



高等課程

平岡 愛理  
清凌高等学校  
生活デザイン科



佳作入賞

13名

専門課程

陳碩イエン

東京モード学園

嶋田 萌々香

文化服装学院

WANG Luo Dan

文化服装学院

竹松 咲音

文化服装学院

小野里 有紀

文化服装学院

上久保 美依

岡学園トータルデザインアカデミー

浜田 梓杏

慈恵歯科医療ファッション専門学校

MOREIRA UTIYAMA

KAREN TIEMI

中部ファッション専門学校

佐野 正貴

名古屋モード学園

名嘉 夕姫

名古屋モード学園

高島 小夏

名古屋モード学園

木原 羽麗

上田女子服飾専門学校

弘山 芽英

大阪文化服装学院



株式会社ヒロコソノ  
代表取締役副社長  
クリエイティブディレクター  
**小篠 ゆま** 氏



株式会社サポートサーフェス  
代表兼デザイナー  
**研壁 宣男** 氏

今回のテーマは「唯一無二の服」ということで、審査員一同、頭を悩ませることになりました。それだけ完成度の高い作品が多く、それぞれ個性あふれるたくさんさんのバリエーションが見られました。その中でも素晴らしい、レベルの高いファッション画を選出いたしました。

「文部科学大臣賞」ですが、水彩画ならではのやさしい表現でありながら、きちんと具体性があり、よく見ると立体感や光までも感じられるとても印象的な作品でした。ペールトーンの水彩表現は最近のトレンドでもあります。実際にここまで完成度高く、しかもインパクトのある表現に仕上げるのは簡単ではありません。泡をコンセプトに、多色を使った表現や重なり合う部分にしっかりとエッジを効かせている点、さらに細胞のような細かな柄やディテールが随所に盛り込まれていて、一見ふわつとしていの中に、非常にコンセプチュアルで情報量の多い世界観が広がっています。作品全体にストーリーと高いテクニックが詰め込まれており、見れば見るほど引き込まれる作品だと感じました。

「経済産業大臣賞」ですが、こちらはアパレルとしてのリアルさが非常に高く、人物や洋服が明確に描かれている点が強く印象に残りました。蝶やムカデといった昆虫をモチーフにしながら、その特徴を洋服のディ



東京ファッションデザイナー協議会  
代表理事・議長  
**久保 雅裕** 氏



ファッションクリエイティブディレクター  
兼 gumi-gumi 代表取締役  
**軍地 彩弓** 氏



テールとして落とし込み、色の組み合わせや線の使い方によって美しくまとめています。一見怖さを感じるモチーフも、ドレスのラインやシルエットとして巧みに昇華され、シンメトリーとアシンメトリーのコントラストも効果的です。リアルな洋服の中に昆虫をどう共存させるかという難しいテーマを、エレガントかつ説得力のある表現に仕上げた点が高く評価され、今回の受賞につながりました。

他にも素晴らしい作品がたくさんありました。この先も能力を伸ばして楽しんでファッションをやり続けていただきたいです。





令和8年2月9日において、「令和7年度 服の日 記念行事」を開催いたしました。本行事は、ファッション教育の振興と、次世代を担う人材の育成、そして服飾文化への理解を深める機会として毎年実施しているものです。

当日は二部構成でプログラムを進行し、前半のシンポジウム形式の講演会では、パネリストの方々をお迎えして、変化の激しい現代社会におけるファッション教育の在り方や、技術継承の重要性について活発な議論が交わされました。ご来場の教育関係者や学生の皆様が熱心に耳を傾ける姿が印象的で、これからの教育の方向性を共に考える有意義な時間となりました。



後半の式典では、各賞の授与および表彰式を執り行いました。まず初めに、今年度より新たに制定いたしました「ファッション検定 各級成績優秀者表彰式」を執り行いました。記念すべき第1回目となる今回は、日頃の学習の成果を遺憾なく発揮し、極めて優秀な成績を収められた方々の努力を称えました。受賞された皆様の晴れやかな表情は、これからのファッション業界を支える力強さに満ちていました。

続いて、「第41回全国服飾学校ファッション画コンクール」の表彰式を行い、瑞々しい感性にあふれる受賞作品の披露とともに、若き才能たちの新たな一歩を祝福いたしました。

最後に執り行われた顕彰式では、長年にわたり教育現場の最前線で尽力され、業界の発展に多大なる貢献をされた方々へ「服飾教育文化章」および「服飾教育功労章」をお贈りし、深い敬意と感謝とともにその功績を讃えました。

本行事の開催にあたり、多大なるご協力をいただいた関係各位、ならびにご来場いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。当協会はこれからも、新たに始まった検定表彰をはじめ、コンクールなどの活動を通じて、ファッションを学ぶ方々の支援と服飾文化の発展に努めてまいります。

#### ◆講演会◆

## 「ファッションの現場と未来—学びの先にあるリアルと技術のチカラ—感性を仕事に、専門性を現場に—」

文部科学大臣賞授与を機に考える、専門教育の「真価」と「未来」

#### 【パネリスト】



一般社団法人 東京ファッションデザイナー協議会  
代表理事・議長  
久保 雅裕氏



株式会社 Ri Design CEO /  
EZUMi クリエイティブディレクター  
江角 泰俊氏



株式会社ムービングオフィス代表取締役 /  
杉野服飾大学 非常勤講師  
おとなぎ  
大極 勝氏



アイア株式会社  
リードパタンナー  
清松 正伸氏

本年度より、各検定の1級成績優秀者に「文部科学大臣賞」が授与されることが決定いたしました。

学びの成果が社会的に高く評価される今、専門学校教育が果たすべき役割を再確認すべく、多様な立場の登壇者をお招きし、二つの視点から議論を深めました。

第一の柱は「学校教育の現状」です。デザイナー養成、パタンナー養成における立体と平面のハイブリッドな教育の重要性、さらには販売・ビジネス視点から見た「経営とデザイン」の両立教育の必要性など、現場に即した具体的な課題が浮き彫

りとなりました。

第二の柱は「卒業後の社会人教育」です。プロとして活躍し続けるために必要な「自ら考え、創造する力」をどう育むか、登壇者の豊富な経験に基づき、社会から求められる専門性の本質について意見を交わしました。

最後に、当協会が実施する各能力検定が、専門性を客観的に証明し、自信を持って社会へ羽ばたくための重要な指標であるとの共通認識を得て、幕を閉じました。熱気あふれる議論の詳細は、ぜひ協会公式YouTubeにてご視聴ください。

当日の講演会録画映像は、本協会公式YouTubeにてご覧いただけますので、右記のアドレスにアクセスしてください。



【一般財団法人日本ファッション教育振興協会 YouTube】  
<https://www.youtube.com/@JapanFashionEdu>

2025年度

# 服飾教育顕彰 表彰

主催 一般財団法人日本ファッション教育振興協会／全国服飾学校協会  
協力 一般財団法人職業教育・キャリア教育財団

日本ファッション教育振興協会は、ファッション教育の充実・向上・振興を図るために多くの方々にご協力をいただきながら様々な事業を推進していますが、その中で服飾学校教育の振興を通じて社会の進展に尽力した功績顕著な教育者を顕彰する制度があります。全国都道府県より候補者の推薦を受け、服飾教育顕彰選考委員会での審査の後、被受章者を決定し、毎年、服の日記念行事として顕彰式を開催しております。顕彰式では、長年にわたる服飾教育への貢献を称え、「服飾教育文化章」、「服飾教育功労章」が授与されます。



## 服飾教育文化章

上田 哲也 先生

学校法人 上田学園 上田女子服飾専門学校  
理事長



商社時代は、永年、ソ連・ロシア向け機械輸出貿易一筋で携わってきた小職ですが、2001年に学校法人上田学園に奉職し、初めて服飾・デザイン教育の世界に携わり、不慣れな分野に戸惑いながら、先輩諸先生方の力を借り、勉強しながら、25年間手探りで服飾教育を主導して参りました。

正直言って、当初は服飾教育をほとんど理解していませんでしたが、学生達の間を見たと時、彼らのキラキラ輝くファッションに対する情熱を感じとり、「これは、彼らを決して裏切る訳にはいかない」とその責任の重さを自覚した覚えがあります。学生達は、自分の人生と夢を賭けて、弊学に入学してきているのであって、その夢を叶えさせるお手伝いをするのが、服飾教育であるという責任・自覚は日に日に高まり、今日に至っているものがあります。

その結果、服飾教育文化章受章者に選考戴いたことは、身に余る光栄であり、心より御礼申し上げます。

学生達の夢を叶えるお手伝いが  
服飾教育であるという責任と自覚



## 服飾教育顕彰表彰

主催 一般財団法人日本ファッション教育振興協会／全国服飾学校協会  
協力 一般財団法人職業教育・キャリア教育財団

## 服飾教育功労章

## 西口 英和 先生

学校法人 西口学園 英風女子高等専修学校  
理事長・校長



この度は服飾教育顕彰功労章を賜り、誠に光栄に存じます。これまで温かいご指導とご支援を賜りました先生方、並びに関係各位の皆様に、心より御礼申し上げます。

私は日本ファッション教育振興協会の各種検定事業において、実施責任者として携わる機会に恵まれ、学生の皆さんの真摯な姿勢と、技術向上への強い意欲に触れてまいりました。教育に携わる中で、教える立場でありながら、むしろ多くの学びと気づきを頂いたと深く感じております。

今後も学生一人ひとりの成長を支え、時代の変化に応じた学びの提供を模索しながら、微力ではございますが服飾教育の発展に尽力してまいります。この度の受章に重ねて御礼申し上げます。ありがとうございます。

学生の真摯な姿勢と強い意欲に触れ  
多くの学びと気づきを頂いた

## 服飾教育功労章

## 朴澤 明子 先生

学校法人 文化学園 文化服装学院  
副学院長



このたびは、服飾教育顕彰という大変名誉ある賞を賜り、心より感謝申し上げます。

日々の教育活動において、技術の習得にとどまらず、ものづくりの喜びや服が人の心を動かす大きな原動力であることを学生達に教えてきました。授業に加え、学生の各種ファッションコンテストへの挑戦では作品制作を通じ、創造性と実践力を備え日々の課題制作では得られない表現方法など、自分も楽しみながら一緒に挑戦をしてきました。これもひとえに、これまでいろいろな経験をさせてくださった学校と経験豊富な諸先輩方や支えてくれた同僚の皆さまのお陰だと思っております。

また、学生一人ひとりの個性を尊重し、国内外で活躍できる人材の育成を目標に、現場に即した指導を重ねてまいりました。本受賞は学生や関係者の皆様と共に歩んだ成果であり、深く感謝申し上げます。今後も服飾教育の発展と次世代育成に尽力してまいります。

学生の作品制作を通じ、  
自分も楽しみながら一緒に挑戦をしてきた

## 服飾教育功労章

## 澤住 倫子 先生

学校法人 文化学園 文化服装学院  
副グループ長



この度は、服飾教育顕彰功労章という栄えある賞を頂戴し、心より光栄に存じます。身に余る思いではございますが、深く感謝申し上げます。

私が服飾教育に携わる中で大切にしてきた事は知識を伝える事だけでなく、ファッションを通して自ら考え、表現し、社会と関わっていく力も育むことでした。本賞はご指導くださった先生方や先輩方、そして日々支えてくださった同僚の皆様とともに頂いたものだと感じております。改めて御礼申し上げます。

気が付けば、服飾教育に携わり三十年以上が経ちました。時代の変化と向き合いながら試行錯誤を重ねてこられたのは、学生一人ひとりが夢に向かって成長していく姿に励まされ、卒業後に業界で活躍する姿に多くの刺激を受けてきたからだと思っております。今後も、ファッション業界を担う人材育成を目指し、服飾教育に真摯に向き合い、微力ながら尽力してまいりたいと存じます。改めまして、皆様に心より感謝申し上げます。

ファッションを通して自ら考え、表現し、  
社会と関わっていく力を育むことを大切に

わたしは  
ファッションで  
生きていく

Fashion Designer  
Pattern Maker  
Textile Designer  
Stylist  
Visual Merchandiser  
Fashion Buyer  
Retail Merchandiser  
Brand Manager  
Fashion Photographer  
Model  
Fashion Illustrator  
Creative Director  
Fashion Journalist  
Trend Forecaster  
Fashion Editor  
Costume Designer  
Technical Designer  
Garment Technologist  
Fashion PR Specialist  
Sustainable Fashion Consultant  
Fashion Marketing Specialist  
Social Media Manager  
Footwear Designer  
Accessories Designer  
Fashion Show Producer  
Fashion Consultant  
Fabric Researcher  
E-commerce Manager  
Sales Representative  
Product Developer  
Luxury Goods Manager  
Supply Chain Coordinator  
Boutique Owner  
Alterations Specialist  
Tailor  
Personal Shopper  
Apparel Engineer

AND MORE, FOR FASHION SPECIALIST IN THE FUTURE

主催 日本ファッション教育振興協会

後援



文部科学省

全国服飾学校協会

一般社団法人

日本アパレル・ファッション産業協会



経済産業省



ひと、暮らし、みらいのために

厚生労働省

Ministry of Health, Labour and Welfare

※1

1993年より70万人以上が挑戦した、唯一無二のステータスアップ  
ファッション検定  
2026



成績優秀者の表彰

1 級最優秀成績者には文部科学大臣賞を授与します

業界での信頼が深まる、4つの確かなスキルの証

パターンメイキング技術

1 級 東京 8 月、大阪 9 月実施  
2 級 筆記 7 月、実技 9 月実施  
3 級 11 月実施

ファッションビジネス能力

1 級 10 月実施  
2.3 級 前期 7 月、後期 11 月実施  
※2

ファッション販売能力

1 級 10 月実施  
2.3 級 前期 7 月、後期 12 月実施  
※2

ファッション色彩能力

1 級 10 月実施  
2.3 級 12 月実施  
※2

※1 厚生労働省はパターンメイキング技術検定のみ後援しております。

※2 企業団体枠での受検者に限り、上記検定（ファッションビジネス、ファッション販売、ファッション色彩）の1～3級すべてにおいて後期のみ通常の試験日（土曜日など）に加え、その前日の金曜日にも受検できる別日程を設けております。  
パターンメイキング技術検定は、通常の試験日のみとなります。  
出願期間や出願方法は日本ファッション教育振興協会へお問い合わせください。



2026 年度からロゴをリニューアルします

公式オンラインショップ

<https://fashionedu.base.shop>



全国の書店でもご注文承ります

但し、ISBNコードがあるもののみご注文いただけます。取次なしの書籍は、公式オンラインショップをご利用ください。

出版社名：一般財団法人日本ファッション教育振興協会

ファッション教育

令和 8 年 3 月 20 日 発行

発行人 榊下町 慶子

発行所 一般財団法人日本ファッション教育振興協会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-14-3 紫苑学生会館2階

TEL 03-6300-0263 FAX 03-6383-4018

<https://www.fashion-edu.jp>

(無断転載を禁じます)

